

エアーメモリアル in かのや 2026

令和8年4月26日（日） / 海上自衛隊鹿屋航空基地

MV-22（米海兵隊）



V-22（陸上自衛隊）



CMV-22（米海軍）



CV-22（米空軍）



概要

令和8年4月26日（日）、海上自衛隊鹿屋航空基地（鹿児島県鹿屋市）において「エアーメモリアルinかのや2026」が開催され、約9000人の来場者が訪れ、会場は熱気に包まれました。展示エリアでは日米4機種のオスプレイが圧倒的な存在感を放ち、さらにUS-2やOH-1など多数の航空機の展示も行われ、上空ではP-1やTH-135が迫力の航空ショーを披露。航空ファンや家族連れで大きな賑わいを見せました。



上空でのショー



US-2の展示

九州防衛局は、ブースを出展し広報活動を行いました。

ブースの様子

・防衛白書クイズ&缶バッジ配布

防衛白書（パネル）をみながら実際に見て答えを探すクイズを実施。正解者には、自衛隊の航空機や艦艇がデザインされたオリジナル缶バッジをプレゼントし、楽しみながら防衛政策への理解を深めていただきました。



・フォトスポット

ブルーインパルスを背景にした顔出しパネル、防衛省の防災服を着用しての撮影コーナーを設置し、お子さま連れのご家族を中心に笑顔あふれる記念撮影の場となりました。

このほか、ブース内では海上自衛隊の迫力ある活動ビデオの上映や広報誌「きゅうしゅう」の配布、精巧なペーパークラフトの展示・配布も行いました。

ペーパークラフトの展示コーナーでは、展示された機体を見ながら自衛隊の航空機や艦艇について熱心に語ってくれる、知識豊富な男子との出会いもありました。



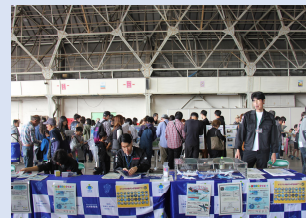
ペーパークラフト展示



防災服の試着



自衛隊パネル



多くの方にご来場いただきました

まとめ

九州防衛局は、今後もこのようなイベントを通じて、地域の皆様に防衛政策や自衛隊の活動を身近に感じていただけるよう努めてまいります。



九州防衛局

Kyushu Defense bureau